

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成28年1月28日 (2016.1.28)

【公表番号】特表2014-510019(P2014-510019A)

【公表日】平成26年4月24日 (2014.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2014-021

【出願番号】特願2013-543689(P2013-543689)

【国際特許分類】

C 0 7 C 319/06 (2006.01)

C 0 7 C 327/06 (2006.01)

C 0 7 C 323/40 (2006.01)

C 0 7 D 277/66 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/265 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 319/06 C S P

C 0 7 C 327/06

C 0 7 C 323/40

C 0 7 D 277/66

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 31/265

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成27年12月2日 (2015.12.2)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

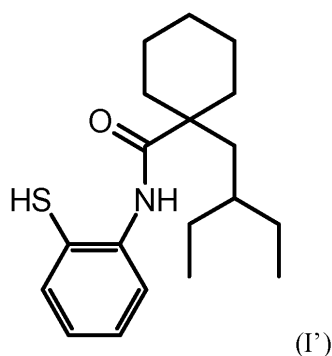
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

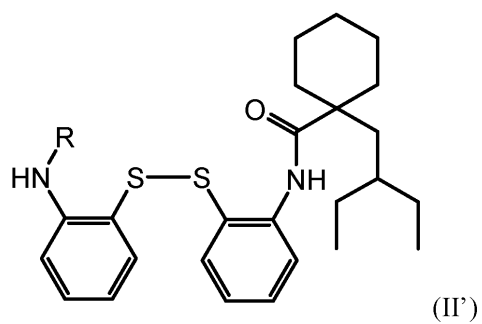
式 (I ') :

【化 1】

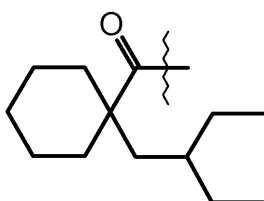


で示される化合物の調製方法であって、

式 (I I ') :
【化 2】



[式中、R は、H 又は下記 :
【化 3】

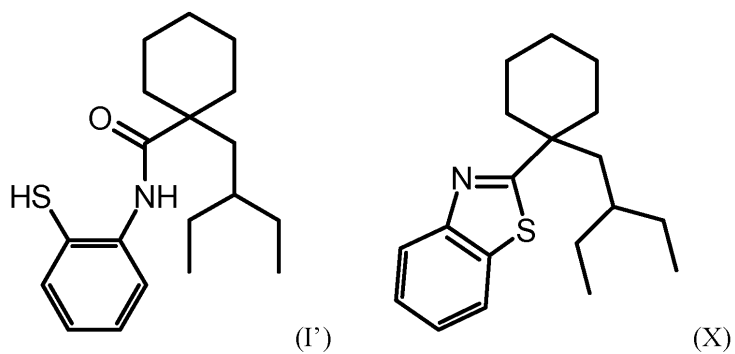


である] で示される化合物を、
不均一系遷移金属水素化触媒の存在下、 H_2 と反応させることを含む、方法。

【請求項 2】

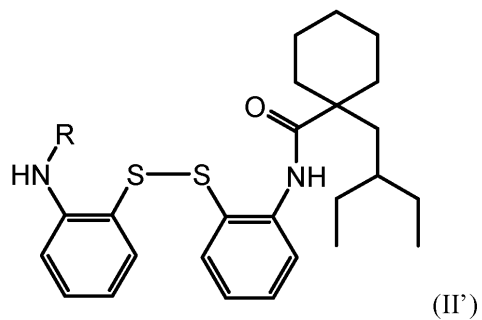
式 (I ') 及び式 (X) :

【化 4】



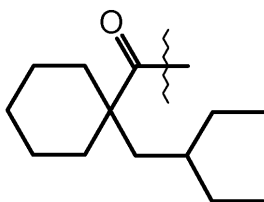
で示される化合物の調製方法であって、

式 (I I ') :
【化 5】



[式中、R は、H 又は下記：

【化 6】

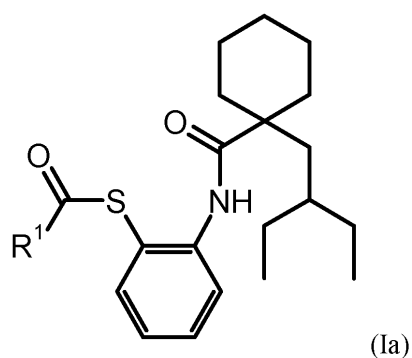


である] で示される化合物を、不均一系遷移金属水素化触媒の存在下、 H_2 と反応させることを含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

式 (I a)：

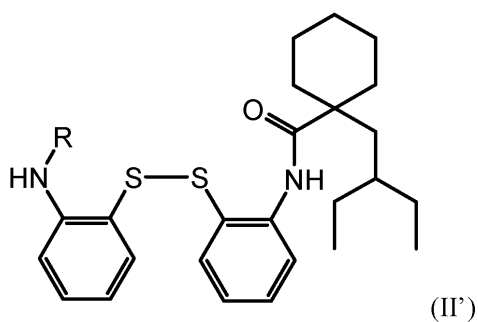
【化 7】



[式中、 R^1 は、($C_1 - C_8$) アルキル又はアリールである] で示される化合物の調製方法であって、

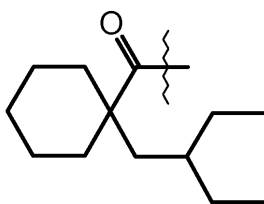
式 (II')：

【化 8】



[式中、R は、H 又は下記：

【化 9】



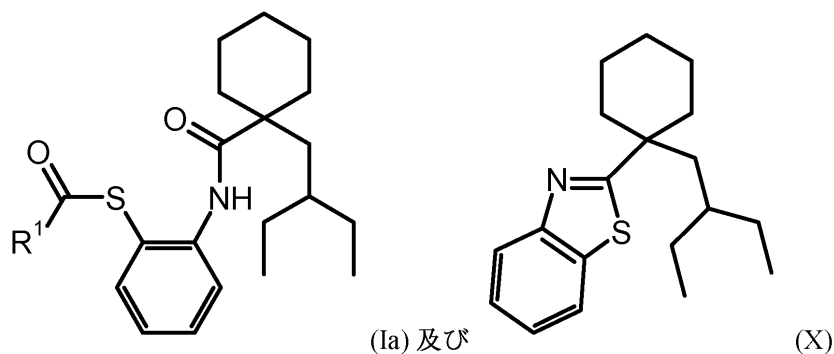
である] で示される化合物を、

無水物誘導体〔（（ $C_1 - C_8$ ）アルキル） $C(=O)$ 〕 $_2O$ もしくは〔アリール（ $C=O$ ）〕 $_2O$ 又はハロゲン化誘導体（（ $C_1 - C_8$ ）アルキル） $C(=O)$ ハライドもしくはアリール（ $C=O$ ）ハライドから選択されるアシル化剤、及び不均一系遷移金属水素化触媒の存在下、 H_2 と反応させることを含む、方法。

【請求項4】

式（I a）及び式（X）：

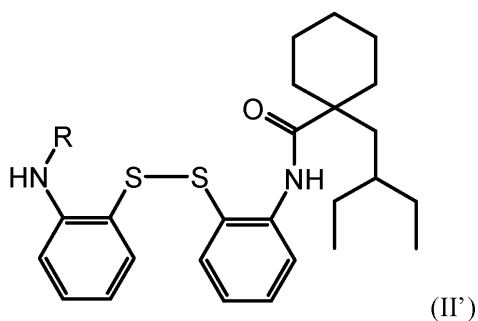
【化10】



〔式中、 R^1 は、（ $C_1 - C_8$ ）アルキル又はアリールである〕で示される化合物の調製方法であって、

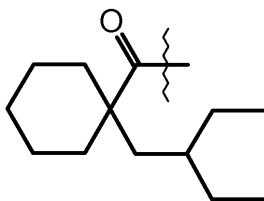
式（II'）：

【化11】



〔式中、Rは、H又は下記：

【化12】



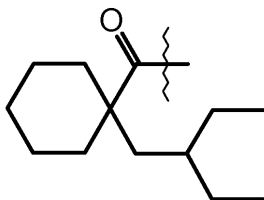
である〕で示される化合物を、

無水物誘導体〔（（ $C_1 - C_8$ ）アルキル） $C(=O)$ 〕 $_2O$ もしくは〔アリール（ $C=O$ ）〕 $_2O$ 又はハロゲン化誘導体（（ $C_1 - C_8$ ）アルキル） $C(=O)$ ハライドもしくはアリール（ $C=O$ ）ハライドから選択されるアシル化剤、及び不均一系遷移金属水素化触媒の存在下、 H_2 と反応させることを含む、請求項1記載の方法。

【請求項5】

Rが、下記：

【化 1 3】



である、請求項 1 ～ 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

R¹ が、イソプロピルであり、そしてアシル化剤が、イソ酪酸無水物又はイソブチリルハライドである、請求項 1 又は 3 ～ 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

アシル化剤が、イソ酪酸無水物である、請求項 1 又は 3 ～ 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

式 (I I) のジスルフィドに対して、イソ酪酸無水物の 2.0 ～ 4.0 当量が使用される、請求項 1 又は 3 ～ 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

1 つの溶媒又は 2 つ以上の溶媒の混合物の存在下での請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

溶媒が、有機溶媒である、請求項 1 ～ 9 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 11】

溶媒が、エーテル様溶媒、エステル様溶媒、脂肪族炭化水素溶媒、飽和脂環式炭化水素溶媒もしくは芳香族溶媒、又はそれらの混合物である、請求項 1 ～ 10 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

溶媒が、エーテル様溶媒、エステル様溶媒、脂肪族炭化水素溶媒、飽和脂環式炭化水素溶媒もしくは芳香族溶媒、又はそれらの混合物より選択される、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

溶媒が、脂肪族炭化水素溶媒、飽和脂環式炭化水素溶媒又は芳香族溶媒である、請求項 12 記載の方法。

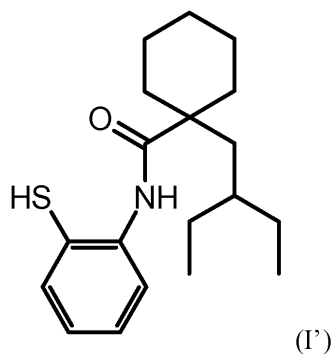
【請求項 14】

無水物誘導体が、溶媒又は共溶媒として、無水物／アミドジスルフィドの 2 ～ 20 のモル比で作用することができる、請求項 1 ～ 11 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 15】

式 (I') :

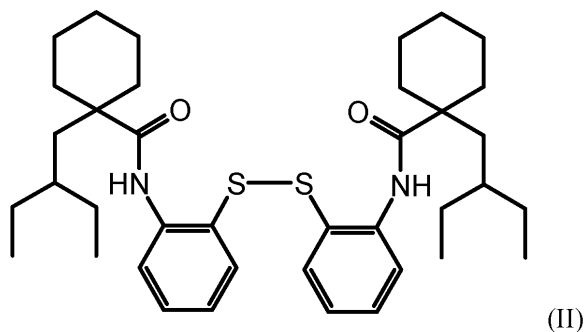
【化 1 4】



で示される化合物の形成を含む、2-メチルプロパンチオ酸 S-[2-([1-(2-エチルブチル)-シクロヘキシル]-カルボニル)アミノ)フェニル]の調製方法であって、

式 (I I) :

【化 1 5】



で示される化合物を、

不均一系遷移金属水素化触媒の存在下、 H_2 と反応させることを含む、方法。

【請求項 1 6】

H_2 が、少なくとも 0.1 bar の圧力で加圧される、請求項 1 ~ 1 5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 1 7】

反応が、150℃までの温度で実施される、請求項 1 ~ 1 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 1 8】

不均一系遷移金属水素化触媒が、ラネー触媒、Pd/C、Pd(OH)₂/C、ポリ尿素マトリクス中にマイクロカプセル化したナノ粒子パラジウム(0)、Au/TiO₂、Rh/C、Ru/Al₂O₃、Ir/CaCO₃、Pt/C、又はそれらの混合物である、請求項 1 ~ 1 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 1 9】

不均一系遷移金属水素化触媒が、ラネー触媒、Pd/C、Pd(OH)₂/C、Au/TiO₂、Rh/C、Ru/Al₂O₃、Ir/CaCO₃、Pt/C、又はそれらの混合物である、請求項 1 ~ 1 8 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 2 0】

不均一系遷移金属水素化触媒が、Pd/C、Pd(OH)₂/C、Au/TiO₂、Rh/C、Ra-Ni 又は Pt/C である、請求項 1 ~ 1 9 のいずれか一項に記載の方法。

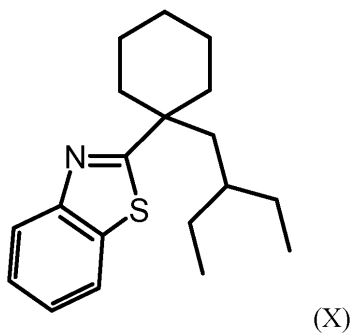
【請求項 2 1】

不均一系遷移金属水素化触媒が、Pd/C 又は Ra-Ni である、請求項 1 ~ 2 0 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 2 2】

式 (X) :

【化 1 6】

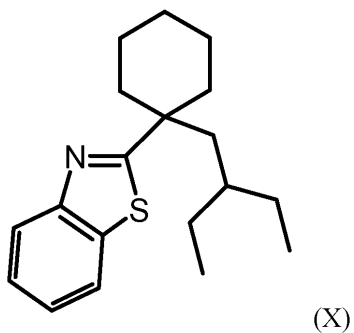


で示される化合物。

【請求項 2 3】

2-メチルプロパンチオ酸 S- [2- ([[1- (2-エチルブチル) -シクロヘキシル] -カルボニル] アミノ) フェニル] 及び式 (X) :

【化 1 7】

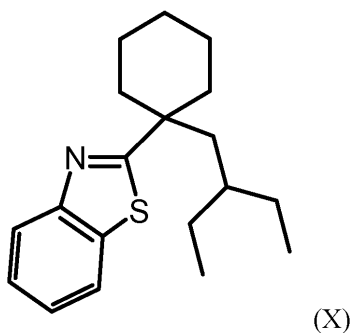


の化合物を含む、医薬組成物。

【請求項 2 4】

組成物が、式 (X) :

【化 1 8】

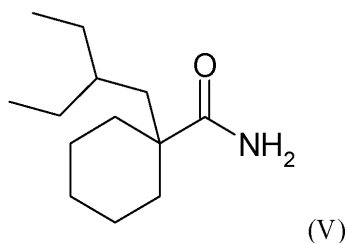


の化合物を 1 ppb と 1 0 0 ppm との間で含む、請求項 2 3 記載の医薬組成物。

【請求項 2 5】

2-メチルプロパンチオ酸 S- [2- ([[1- (2-エチルブチル) -シクロヘキシル] -カルボニル] アミノ) フェニル] 及び式 (V) :

【化 1 9】

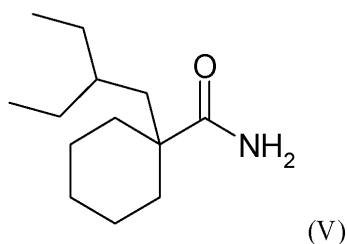


の化合物を含む、医薬組成物。

【請求項 2 6】

組成物が、式 (V) :

【化 2 0】

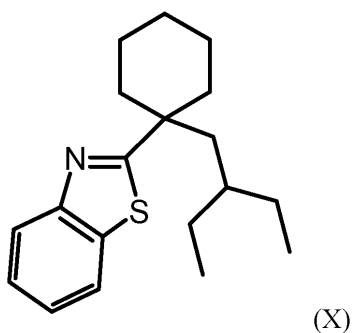


の化合物を 1 ppb と 1 0 0 ppm との間で含む、請求項 2 5 記載の医薬組成物。

【請求項 2 7】

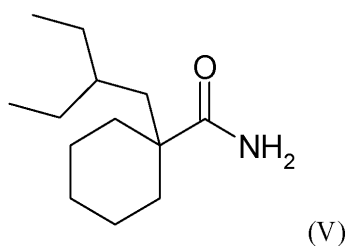
医薬組成物が、2-メチルプロパンチオ酸 S-[2-([1-(2-エチルブチル)-シクロヘキシル]-カルボニル)アミノ)フェニル]、式 (X) :

【化 2 1】



の化合物及び式 (V) :

【化 2 2】

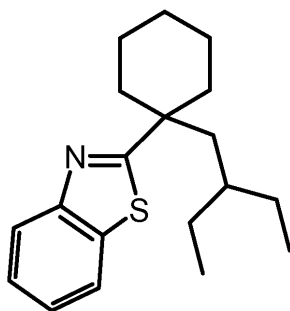


の化合物を含む、請求項 2 3 ~ 2 6 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 2 8】

組成物が、2-メチルプロパンチオ酸 S-[2-([1-(2-エチルブチル)-シクロヘキシル]-カルボニル)アミノ)フェニル]、式 (X) :

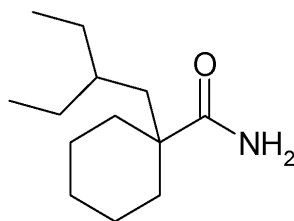
【化 2 3】



(X)

の化合物を 1 ppb と 1 0 0 ppm との間及び式 (V) :

【化 2 4】



(V)

の化合物を 1 ppb と 1 0 0 ppm との間で含む、請求項 2 3 ～ 2 6 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 5】

別の実施態様において、無水物誘導体は、溶媒又は共溶媒として、例えば、無水物／アミドジスルフィドの 2 ～ 2 0、特に 2 ～ 5 のモル比で作用することができる。